

事業概要説明

2026年度

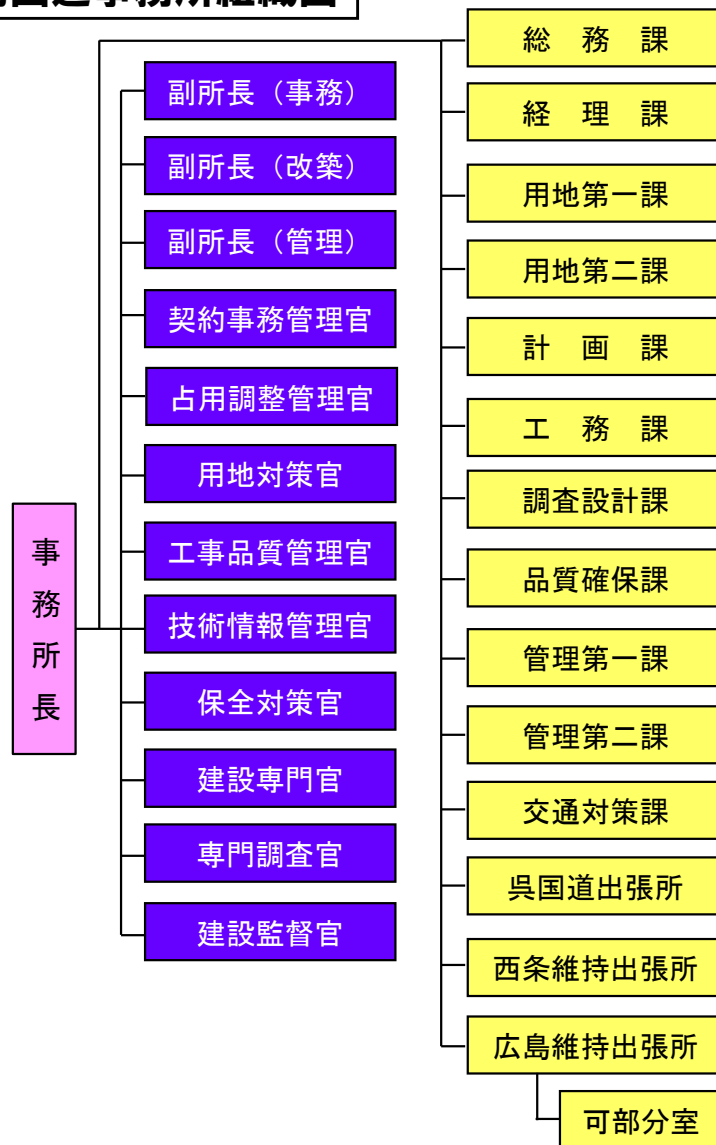
広島国道事務所管内の事業概要

(写真) 広島市街地

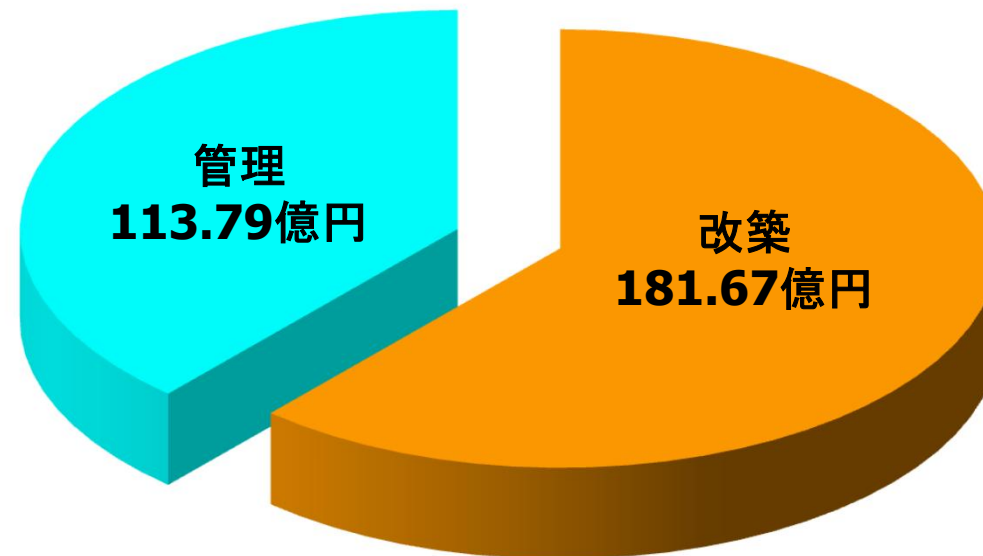
1. 事務所の組織・予算



広島国道事務所組織図



令和8年度 事務所全体事業費



(単位:億円)

事業費	令和8年度 (当初)	令和7年度 (当初)	令和7年度 (補正)	伸率 (R8当初/ R7当初)
改築	181.67	113.42	44.70	1.60
管理	113.79	112.85	7.12	1.01
合計	295.46	226.27	51.82	1.31

※事業費は当初予算を記載している。

※管理の内訳には、交通安全事業、電線共同溝事業、建設機械・航空機購入費、
営繕宿舍費を含む。

※上記予算に道路調査費は含まない。

※小数点以下第3位を四捨五入している。

職員数(人)	R8.4.1現在	
	事務官	技 官
100	46	54

2. 事務所の事業概要（管理区間）

○一般国道2号のほか、約230kmの道路を3出張所で管理している。



路線名	区 間	延長 (km)
2号	竹原市新庄町字西原 10469 番 2(三原市境)~大竹市南栄 1 丁目 1 番 (山口県境)	92.8 (23.5)
31号	安芸郡海田町南堀川町 1315 番 3~呉市本通 2 丁目 1 番 15	20.1
54号	広島市中区大手町 4 丁目 7 番~安芸高田市八千代町上根字東裏 865 番 1	27.6
185号	呉市本通 2 丁目 1 番 15 ~ 竹原市忠海東町 4 丁目 418 番 7	55.4 (1.5)
375号 (東広島・呉自動車道)	呉市阿賀中央 4 丁目 19 番 2~東広島市高屋町溝口 111 番 1	33.2
計		229.1 (25.0)

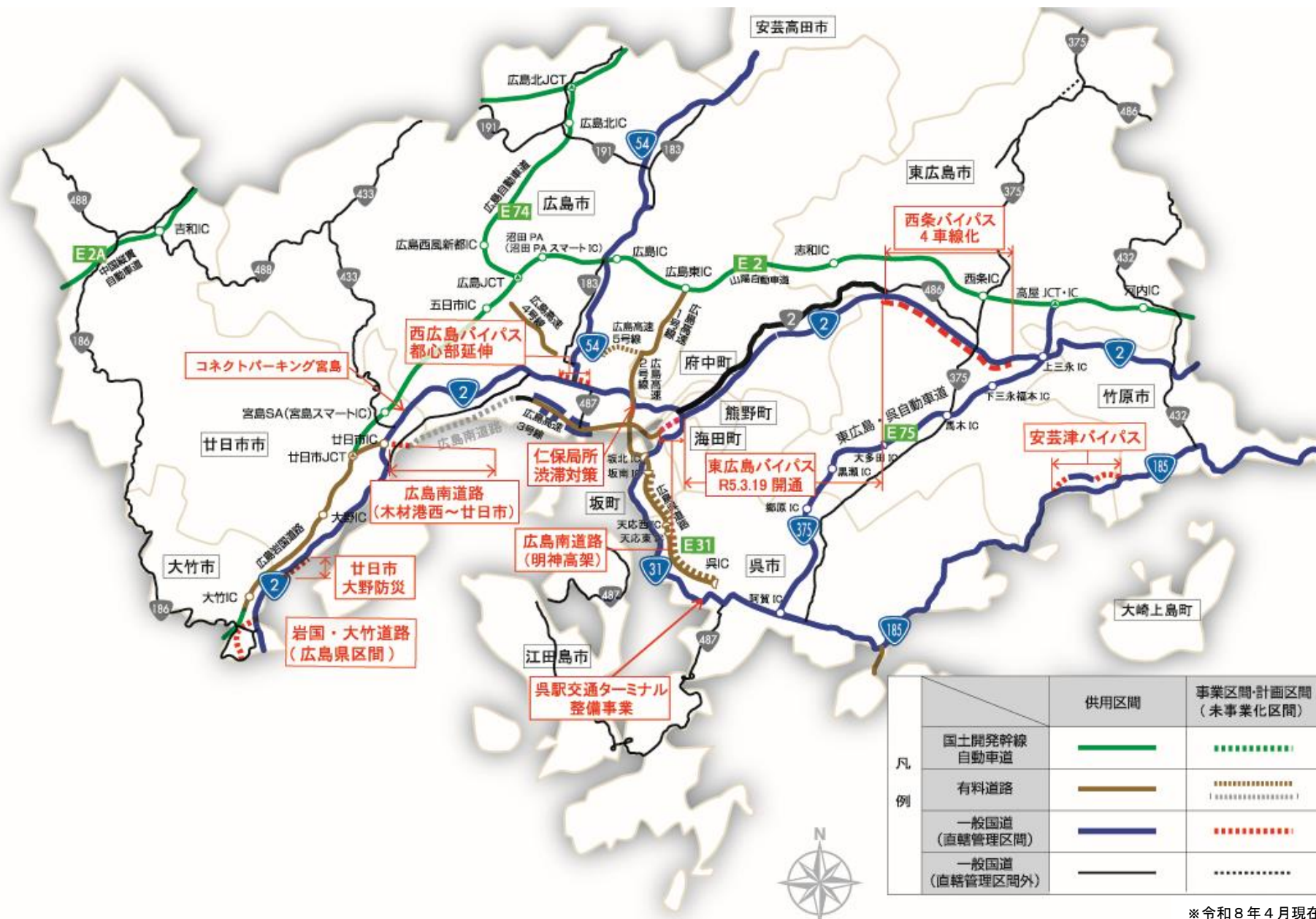
※ () 書は重複している区間

<事前通行規制区間>

図面 対象 番号	路線名	区間 (距離)	通行止め	危険内容
①	国道185号	呉市川尻町東四丁目~安浦町安登西七丁目 (17.0~18.5k)	・連続雨量200mm	落石
②	国道185号	竹原市高崎町 (47.1~47.6k)	・連続雨量250mm	落石・土砂崩落
③	国道375号	東広島・呉自動車道阿賀IC~黒瀬IC	・連続雨量130mm ・組合せ雨量 (連続雨量90mmかつ時間雨量35mm)	法面崩落等
④	国道375号	東広島・呉自動車道黒瀬IC~上三永IC	・連続雨量125mm ・組合せ雨量 (連続雨量80mmかつ時間雨量30mm)	法面崩落等
⑤	国道375号	東広島・呉自動車道上三永IC~高屋JCT・IC	・連続雨量180mm ・組合せ雨量 (連続雨量160mmかつ時間雨量40mm)	法面崩落等

2. 事務所の事業概要（改築事業）

- 7箇所バイパス事業や交通ターミナル整備事業や防災事業等を推進している。
- 東広島バイパスおよび安芸バイパスは、通称名を東広島バイパスとし、令和5年3月19日に開通。



2. 事務所の事業概要（交通安全事業・電線共同溝事業）

○ 11箇所では交差点改良や歩道整備等を、7箇所では電線類の地中化事業を推進している。

[illegible]

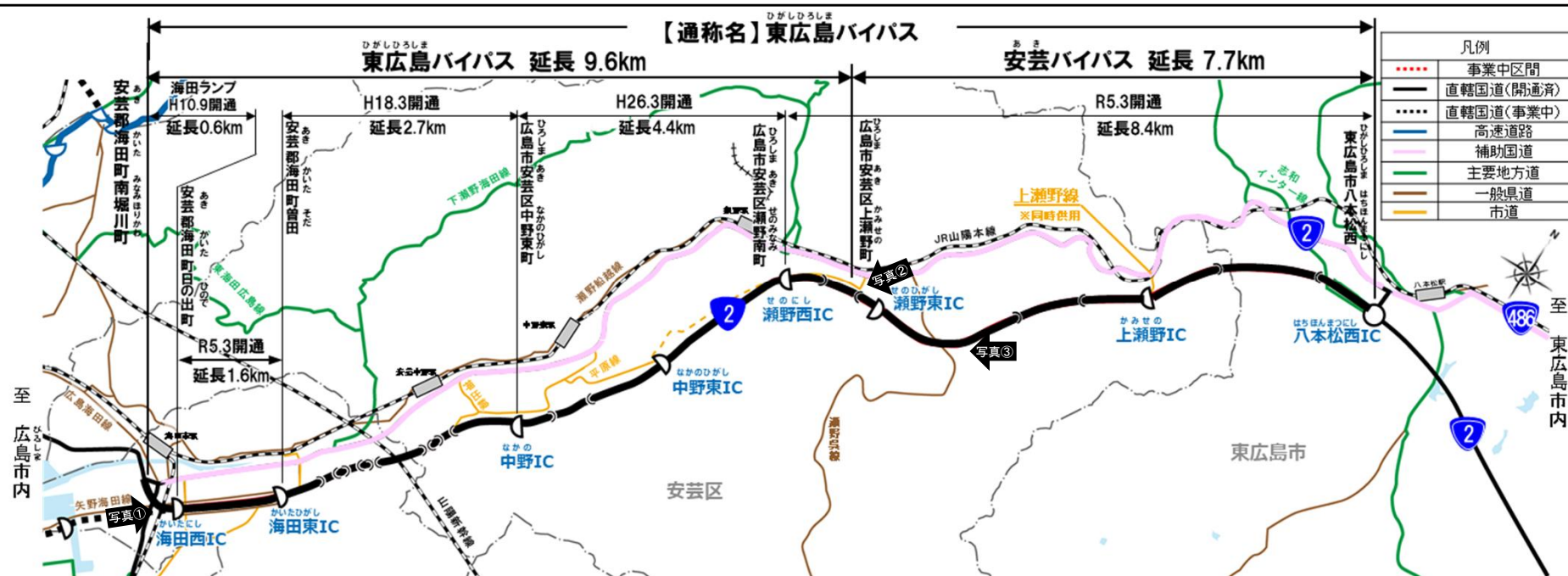
凡 例

交通安全事業

電線共同溝事業

2. 事務所の事業概要（一般国道2号 安芸バイパス）^{あき}

- 一般国道2号安芸バイパスは、東広島市と広島市内の交通混雑の緩和及び交通安全の確保を目的とした、延長7.7kmの自動車専用道路である。
- 東広島バイパスと安芸バイパスを合わせて通称名を東広島バイパスとし、令和5年3月19日に全線開通した。
- 令和8年度は、環境調査、水文調査、橋梁上部工を推進する。



【写真①】海田高架橋付近 開通状況

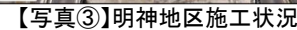
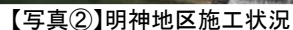
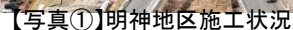


【写真②】一貫田交差点付近の渋滞状況(開通前)



【写真③】熊野川高架橋付近 開通状況

- [illegible]



2. 事務所の事業概要（一般国道185号^{あきつ}安芸津バイパス）

- 一般国道 185 号安芸津バイパスは、東広島市安芸津町内の現道隘路区間の解消及び交通安全の確保を目的とした延長 6.1 km の道路である。
- 平成 20 年度に、一部区間の延長 1.5 km が部分開通済みである。
- 令和 7 年度補正予算では、道路設計、道路改良工事を推進する。
- 令和 8 年度は、環境調査、水文調査、用地買収、用地補償、橋梁下部工、トンネル工を推進する。



2. 事務所の事業概要（一般国道2号西広島バイパス）

にしひろしま

- 一般国道2号西広島バイパスは、一般国道2号の広島市西部と廿日市市の交通混雑の緩和、交通安全の確保及び、沿道環境の改善を目的とした、延長19.4kmの道路である。
- 平成23年度までに、延長17.1kmが開通済みであり、令和2年度より都心部延伸事業として延長2.3kmを整備中である。
- 令和7年度補正予算では、道路設計、橋梁下部工事を推進する。
- 令和8年度は、水文調査、道路設計、用地補償、橋梁下部工を推進する。



【写真①】都心部延伸事業の施工状況



【写真②】都心部延伸事業の施工状況

一般国道31号 呉駅交通ターミナル整備事業

- 一般国道31号呉駅交通ターミナル整備事業は、国道31号上のバス停を集約するとともに、交通ターミナルと呉駅を連結するデッキを整備することで、モーダルコネクトの強化、交通の円滑化、利便性・回遊性の向上、防災機能を強化させることを目的とした事業である。
- 令和8年度は交通ターミナル運営計画検討、交通ターミナル整備工を推進する。
- 令和9年度下半期に1Fバスターミナル暫定運用開始の予定である。

■位置図



■呉駅周辺の現状



＜停車中バスが後続車両の進行を阻害＞



＜バスと歩行者が輻輳し交差点にバスが滞留＞

■将来イメージ



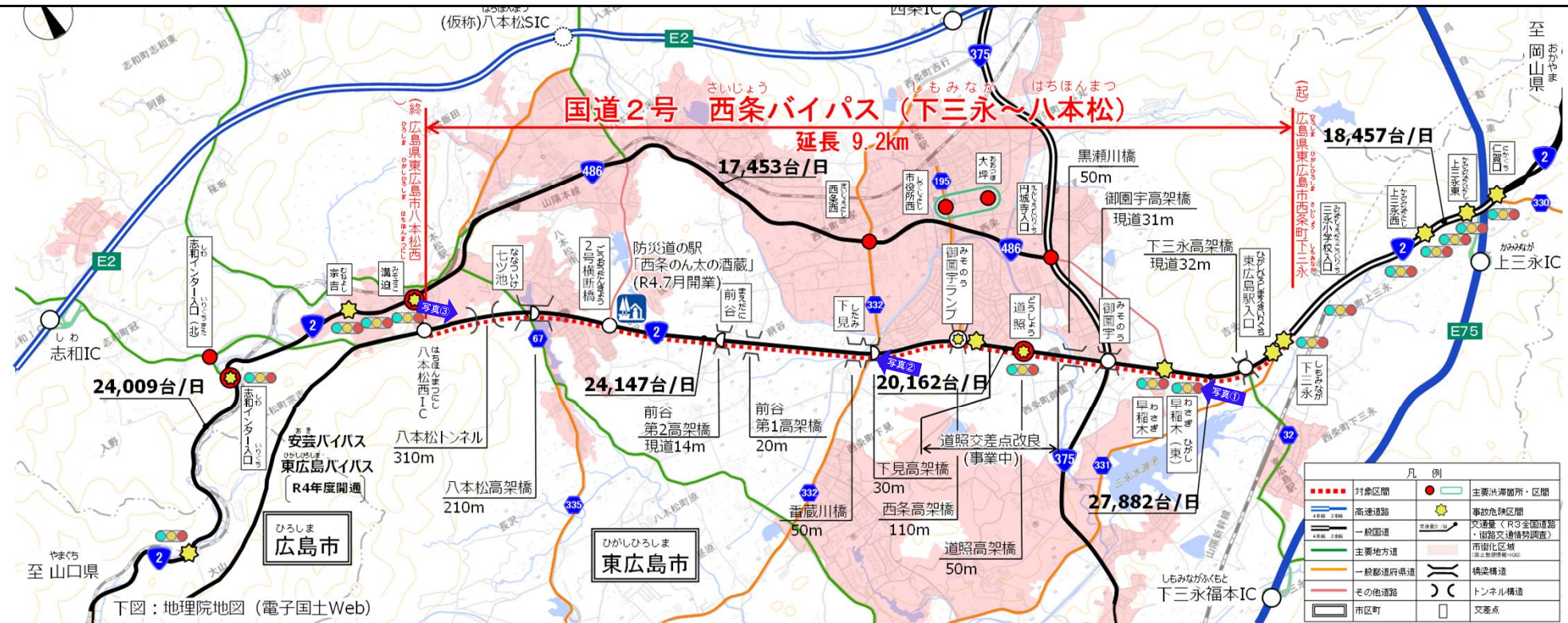
■工事写真



2. 事務所の事業概要（一般国道2号西条バイパス(下三永～八本松)）

しもみなが はちほんまつ

- 一般国道2号西条バイパス（下三永～八本松）は、東西軸の機能を強化し、リダンダンシーの確保、交通の円滑化、物流効率化による地域経済活動の支援を目的とした、延長9.2kmの道路である。
- 令和7年度補正予算では、調査設計を推進する。
- 令和8年度は、環境調査、水文調査、道路設計、用地補償、改良工を推進する。



2. 事務所の事業概要（一般国道2号広島南道路（木材港西～廿日市））

- 一般国道2号広島南道路（木材港西～廿日市）は、広島都市圏の交通混雑の緩和及び交通安全の確保、地域経済活動支援等を目的とした延長1.5kmの自動車専用道路である。
- 令和7年度補正予算では、調査設計を推進する。
- 令和8年度は、地質調査、水文調査、橋梁設計、用地買収を推進する。



【写真①】広島南道路(木材港西～廿日市)の周辺状況



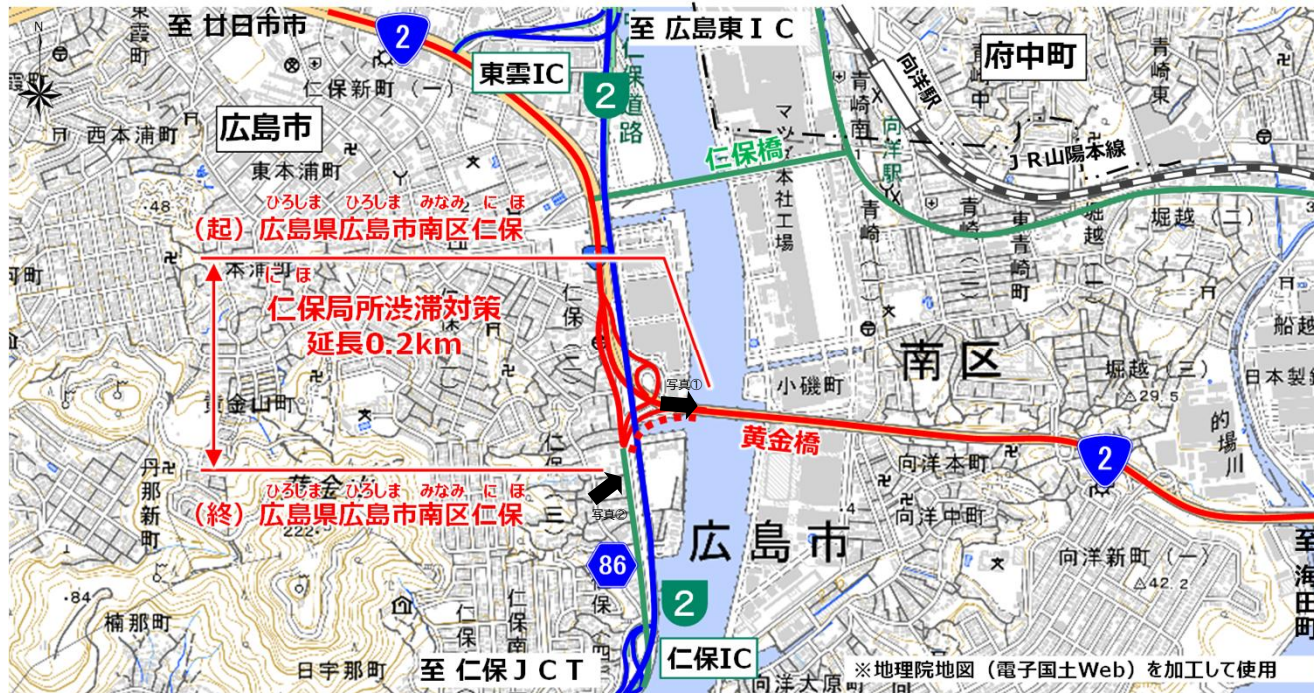
【写真②】国道2号の渋滞状況



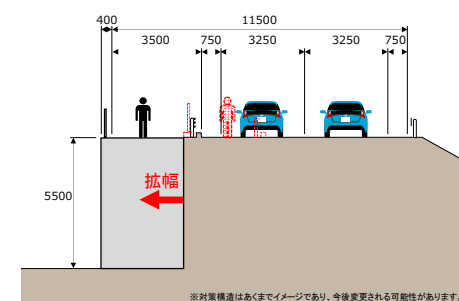
【写真③】廿日市ICアクセス経路の渋滞状況

2. 事務所の事業概要（一般国道2号 仁保局所渋滞対策）

- 一般国道2号仁保局所渋滞対策は、一般国道2号から広島高速2号線仁保1C方面へのランプを2車線に拡幅することで、本線直進車両の阻害を解消し、渋滞の緩和を図る局所渋滞対策事業である。
- 令和8年度は、道路設計、用地補償を推進し、改良工に着手予定。



【対策イメージ図】



【標準横断面図】



【写真①】国道2号の渋滞状況



【写真②】仁保局所渋滞対策の周辺状況

2. 事務所の事業概要（一般国道2号 岩国・大竹道路）

- 一般国道2号岩国・大竹道路は、大竹市から岩国市内の交通混雑の緩和及び交通安全の確保を目的とした、延長9.8kmの道路である。
- 平成25年度より広島県大竹市小方一丁目から広島・山口県境までの間を当事務所が担当している。
- 令和7年度補正予算では、調査設計、改良工、橋梁下部工を推進する。
- 令和8年度は、環境調査、水文調査、道路設計、用地買収、用地補償、改良工を推進する。



2. 事務所の事業概要（一般国道2号 コネクトパーキング宮島）

みやじま

- 一般国道2号コネクトパーキング宮島は、物流関連車両の中継輸送拠点を整備することで、物流事業者の中継輸送を支援し、物流の効率化やトラックドライバーの働き方改革を目的とする事業である。
- 令和8年度は、地質調査、水文調査、橋梁設計、用地買収、改良工を推進する。

■位置図

・整備箇所
ひろしま はつかいち さがた
：広島県廿日市市佐方



図1 広域位置図

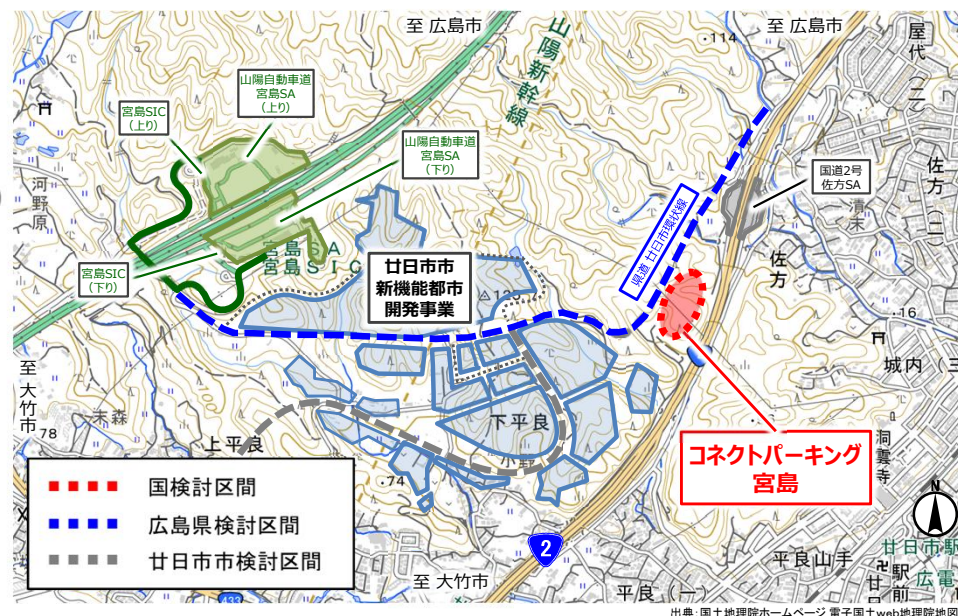
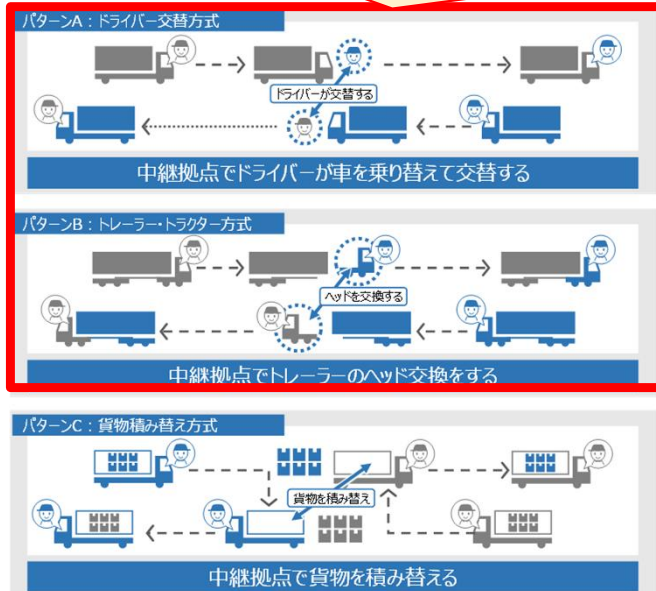


図2 周辺位置図

■中継輸送のイメージ

ドライバー交替方式、トレーラー・トラクター方式を想定

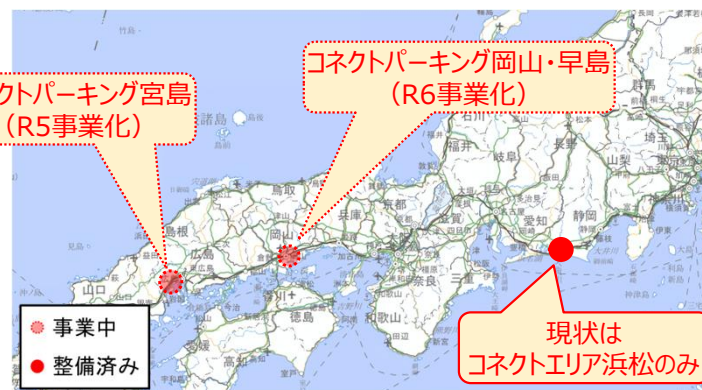


コネクトパーキング
宮島



コネクトパーキング宮島
(R5事業化)

コネクトパーキング岡山・早島
(R6事業化)



現状は
コネクトエリア浜松のみ

全国の中継拠点整備状況

ドライバー交替方式(宮島SAにおける実証実験)



2. 事務所の事業概要（交通安全事業）

- 事故の危険性の高い区間を『事故ゼロプラン』に位置付け、対策を実施している。
- 交差点や通学路における安全対策を推進している。

◆事故ゼロプラン （事故危険区間重点解消作戦）

○事故ゼロプラン（事故危険区間重点解消作戦）は、県内の直轄国道を対象に事故の危険性の高い区間を選定し、重点的に対策を実施している。

○広島県では、事故危険区間として現在319区間を選定しており、そのうち76区間を優先度が高い区間として公表している。

○順次、現地検討会等で対策内容を検討し、対策を実施している。

	広島県全体	
		広島国道管内
事故危険区間	319	269
うち公表区間	76	63

※R7. 3月末時点

◆交通安全事業

歩道・自転車歩行者道の整備のほか、交差点やその付近の拡幅や右折レーンの設置等の改良事業を実施。
また、必要に応じた標識や路面表示、防護柵の設置による交通安全対策を実施。

◆R8年度 事業箇所一覧

市町村名	路線	事業名	事業化
東広島市	2	道照交差点改良	H29
東広島市	2	溝迫歩道整備	R5
広島市(中区)	2	吉島・江波地区自転車走行空間整備	R5
廿日市市	2	宮島口地区交差点改良	R4
安芸郡坂町	31	坂歩道整備	H27
安芸郡坂町	31	総頭橋交差点改良	R2
呉市	31	吉浦地区歩道整備	R6
東広島市	185	小松原歩道整備	H25
東広島市	185	安芸津歩道整備	H24
竹原市	185	吉名歩道整備	R1
竹原市	185	忠海自転車歩行者道整備	H26

2. 事務所の事業概要（一般国道31号 交通安全事業 ^{さか}坂地区）

○当該地区は慢性的に渋滞が発生していると同時に、JRと港湾に挟まれた区間のため迂回路が存在せず、交通事故等が発生すると、緊急車両の現地到着が遅れるなどの支障が発生している。

【坂歩道整備事業】

○多くの通勤・通学利用者に利用されているが、歩道が非常に狭隘で離合が難しい箇所も存在し、大変危険な状況となっている。令和8年度は調査設計、公共補償、工事を推進する。

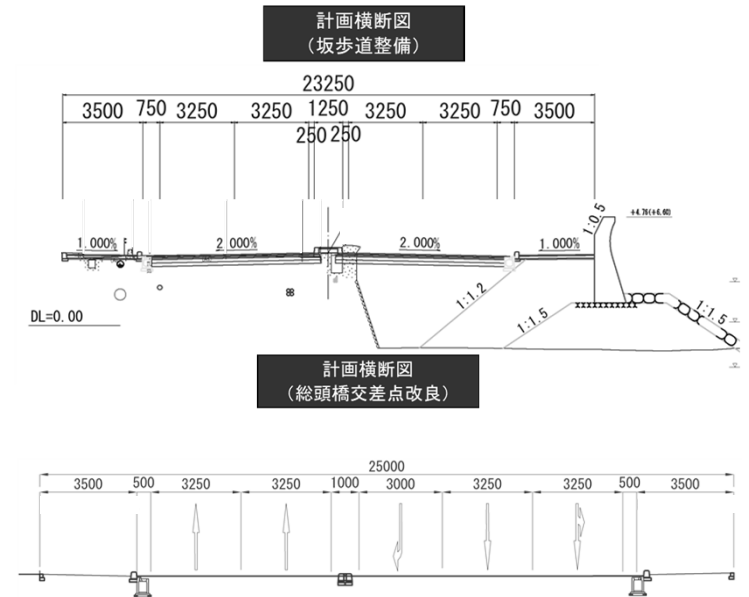
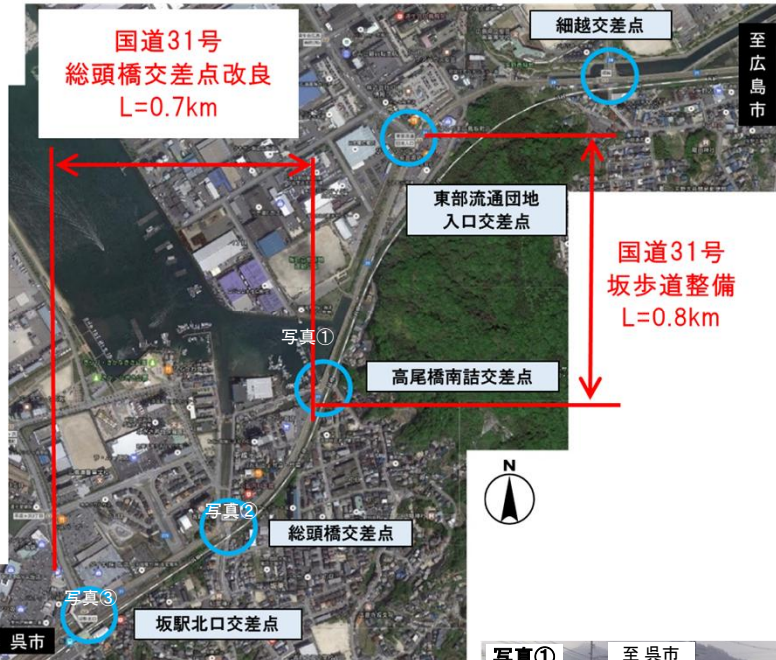
【総頭橋交差点改良事業】

○死傷事故率が高く、低速車や右折待ち車両への追突事故が発生している。令和8年度は調査設計、用地買収、工事を推進する。

位置図



航空写真



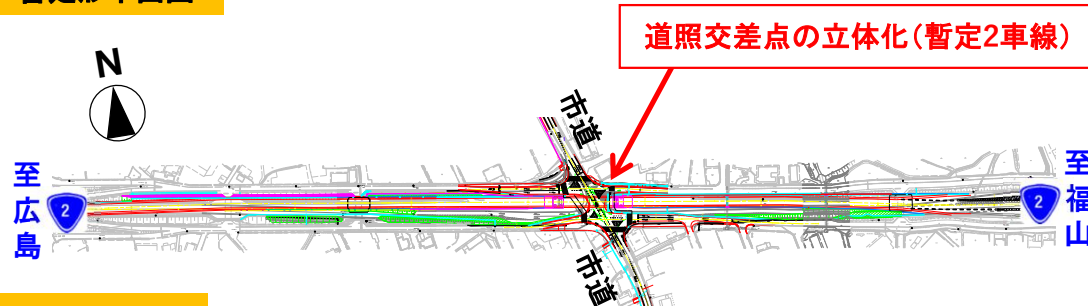
2. 事務所の事業概要（一般国道2号 道照交差点改良）^{どうしょう}

- 当該箇所は、一般国道2号西条バイパスの東広島市西条中央に位置し、市道土与丸御園宇線との平面交差点であり、凹部形状となっているため、高速で交差点に進入しやすく追突事故が多発している。
- 本事業は、道照交差点を立体化することで、追突事故の解消を図るものである。
- 令和8年度は、調査設計、公共補償、工事を推進する。

位置図



暫定形平面図

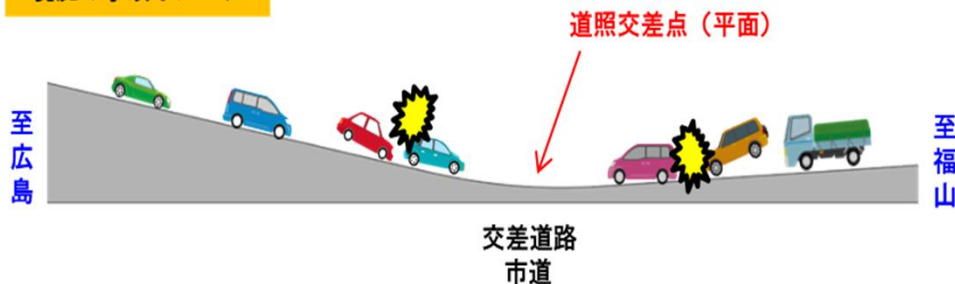


現在の状況

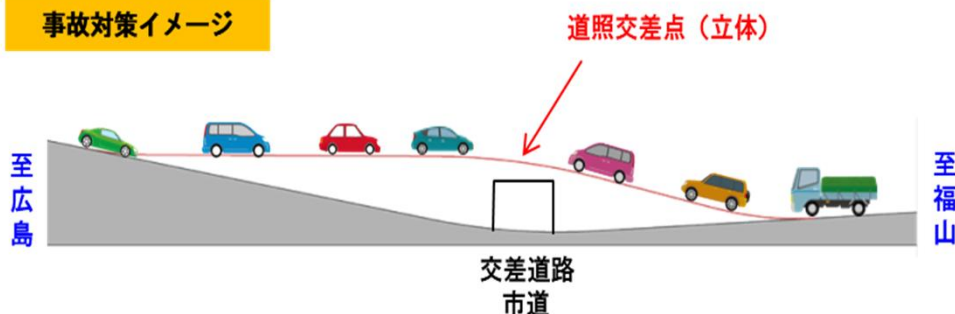


(R6.2.2 上部工架設工事)

現況の事故イメージ



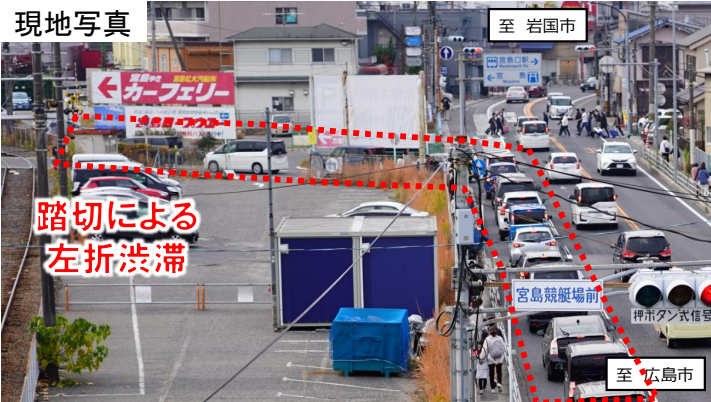
事故対策イメージ



2. 事務所の事業概要（一般国道2号 宮島口交差点改良）

- 当該交差点は、広島県西部の廿日市市に位置しており、世界遺産「厳島神社」の玄関口であり、観光シーズンを中心に深刻な道路混雑が発生し、渋滞に伴う追突事故が発生している。また歩道に狭隘な箇所があることから、無理な横断による歩行者との衝突事故も発生している。
- 本事業は、国道2号に接続する市道への上下線右折レーン新設・下り線左折レーン拡幅及び歩道拡幅により、交通安全性の確保を図るものである。
- 令和8年度は、調査設計、用地買収及び工事を推進する。

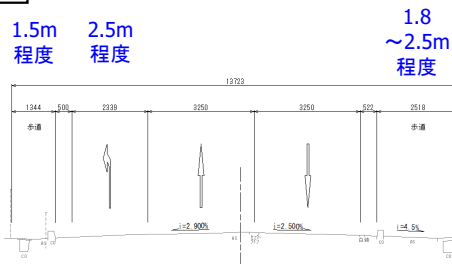
■位置図



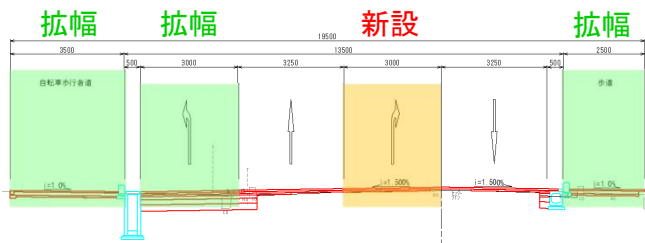
- ・事業区間：広島県廿日市市宮島口1丁目
- ・R8当初：1.00億円
- ・延長：0.3km
- ・全体用地進捗率：90%（R8.3末時点）

■横断面（①-①断面）

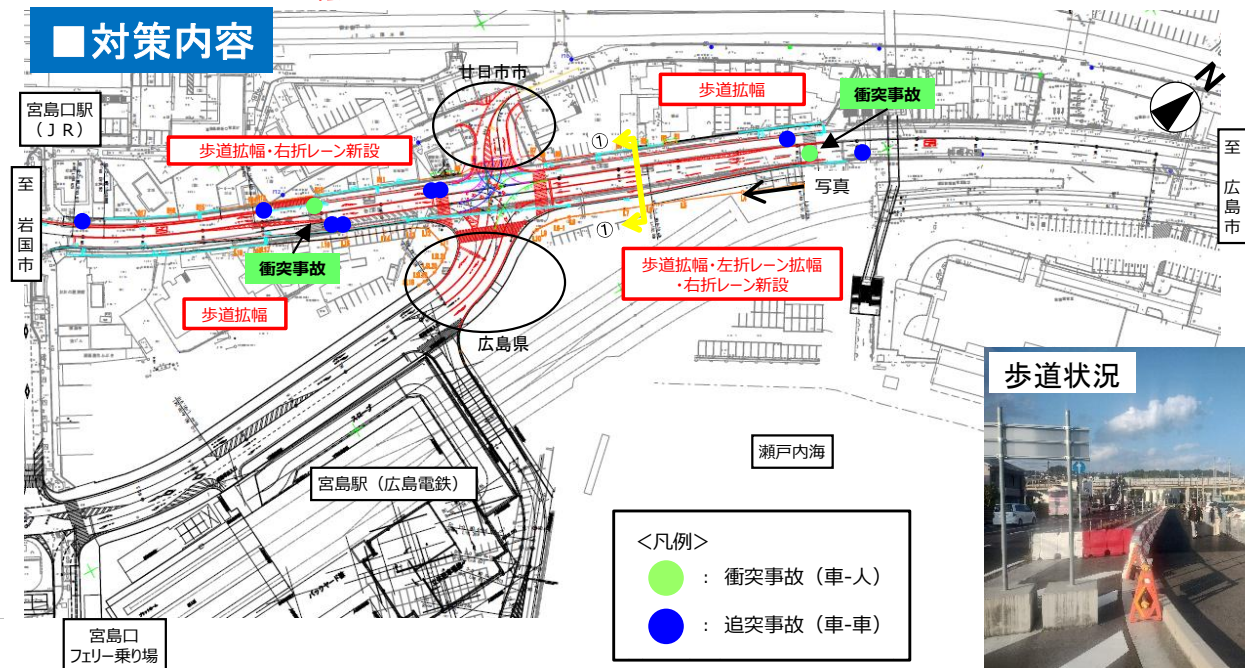
現況断面



計画断面



■対策内容



歩道状況



<凡例>

- ：衝突事故（車-人）
- ：追突事故（車-車）

2. 事務所の事業概要（一般国道31号吉浦地区歩道整備）

- 当該箇所は、呉市バリアフリー基本計画にて重点整備地区として、基本構想が定められている。また、本区間は通学路にも指定されているが、歩道部には植樹があり、歩道の有効幅員確保が必要であり、交差点歩道部はがたつきが生じており、路面構造の改善が必要な状況となっている。
- 本事業は、歩道空間を確保することにより、安全・安心な道路空間を整備するものである。
- 令和8年度は、調査設計、工事を推進する。

■位置図



写真①：JR吉浦駅前付近の歩道状況

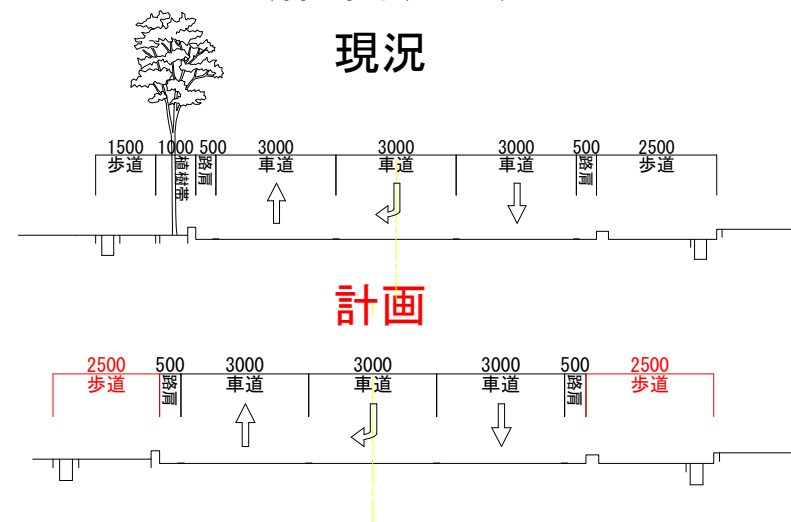


写真②：バリアフリー現地
点検状況（R5年度）



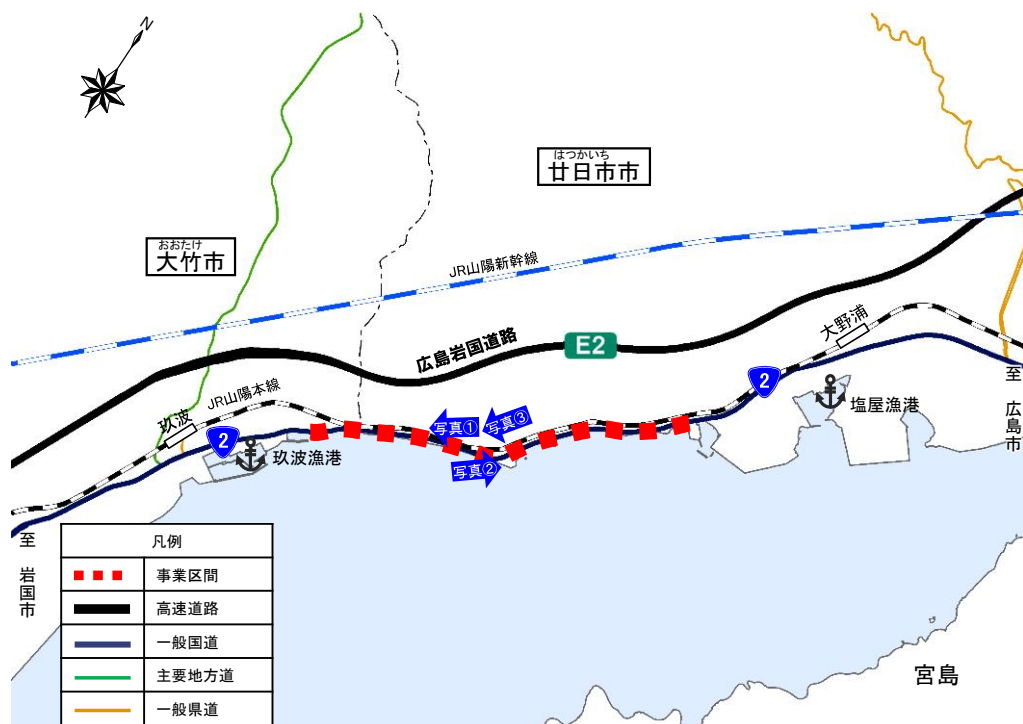
断面図(A-A)

現況

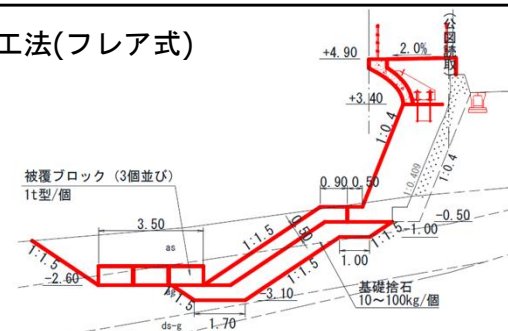


2. 事務所の事業概要（一般国道2号 廿日市大野防災）

- 一般国道2号廿日市大野防災は、廿日市市大野地区において、多く発生している越波被害を防ぐことを目的とした延長2.7kmの防災対策事業である。
- 令和7年度補正予算では、排水構造物工を推進する。
- 令和8年度は、本体着工に向けて関係機関協議を行う。



■越波対策工法(フレア式)



■護岸整備イメージ



※R5年11月時点の計画であり、変更の可能性があります。



【写真①】当該区間の現況（路肩から岩国方面を望む）



【写真②】当該区間の現況（砂浜から広島方面を望む）



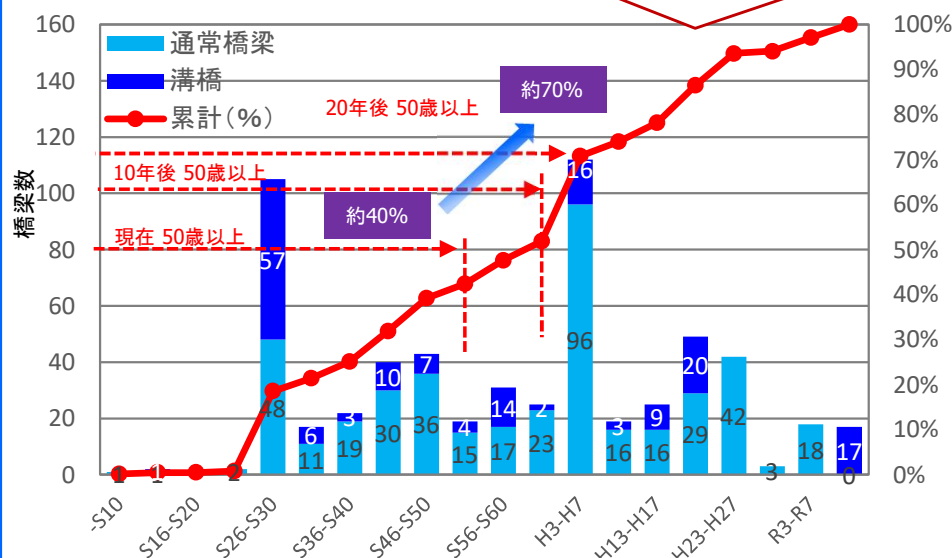
【写真③】越波の状況(H17.9)

2. 事務所の事業概要（道路ストックの適切な管理）

- 高齢化が進む橋梁やトンネルなどの道路構造物について、適切な補修・補強を重点的に実施。
- 道路ネットワークの安全性・信頼性を確保するため、点検による道路構造物の状態把握及び予防保全を推進している。

■建設年代別・橋梁数（広国管内）

R7年度現在で全595橋あり、建設後50年以上経過した老朽橋は、約240橋で約4割になる。10年後は約300橋で約5割、20年後には約420橋約7割にのぼり、今後、老朽化した橋梁の補修が重要。



補修前



建設年代

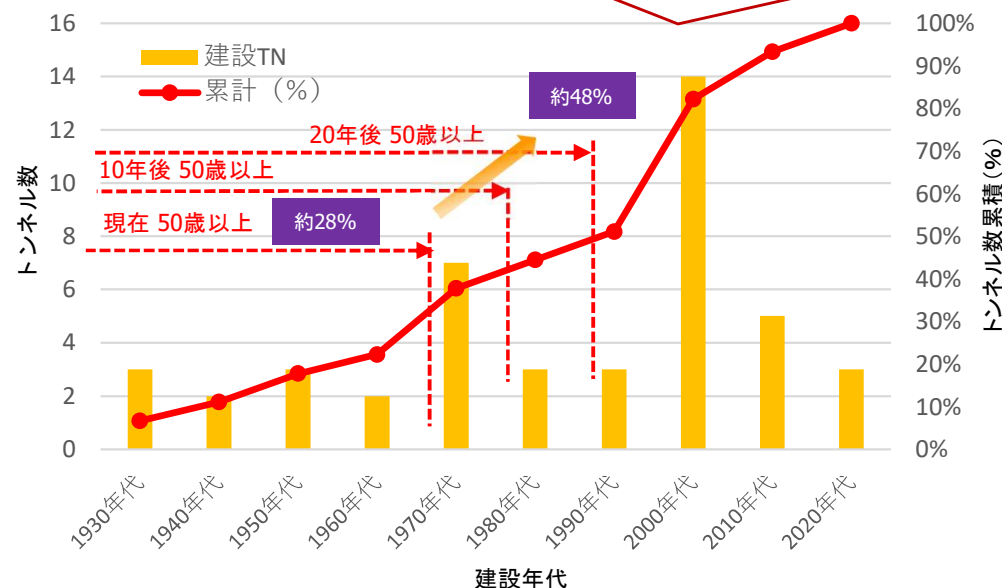
補修後



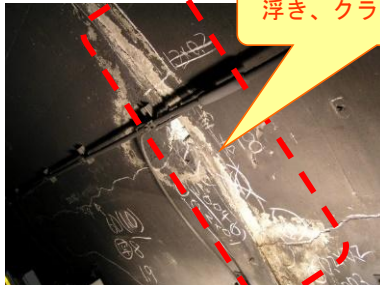
断面補修、ひびわれ注入を実施

■建設年代別・トンネル数（広国管内）

R7年度現在で全46基あり、建設後50年以上経過した老朽トンネルは、13基で約3割になる。10年後は19基で約4割、20年後は22基で約5割にのぼり、今後、老朽化したトンネルの補修が重要。



補修前



浮き、クラック、遊離石灰

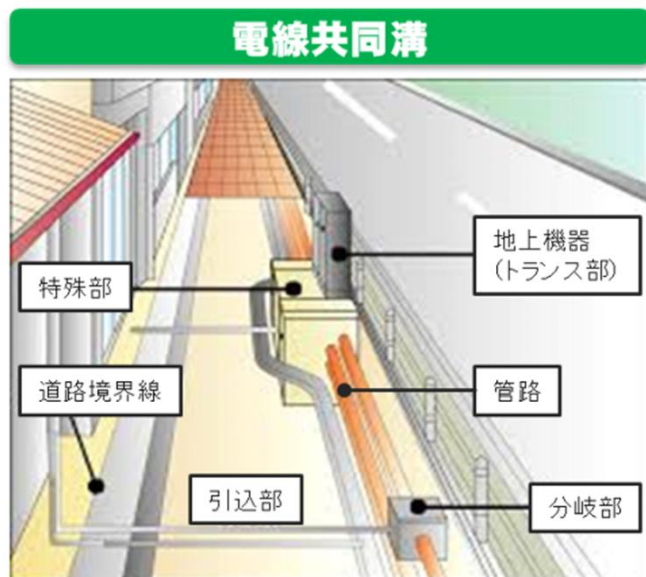
補修後



劣化コンクリート撤去、断面修復、剥落防止工を実施

2. 事務所の事業概要（電線共同溝事業）

- 「防災」「安心・快適」「景観・観光」の観点から無電柱化を推進している。
- 安全で快適な歩行空間の確保並びに震災時における緊急輸送道路の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けた、まちづくりを支援する。



無電柱化の整備事例

電線共同溝整備による無電柱化
(竹原市竹原中央5丁目)



電線の地中化により、良好な景観を形成、道路の防災性の向上が図られました。

◆R8年度 事業箇所一覧

路線	事業名
国道2号	東雲電線共同溝
国道2号	出汐電線共同溝
国道2号	出汐(II期)電線共同溝
国道185号	呉広本町電線共同溝
国道185号	阿賀電線共同溝
国道31号	坂電線共同溝

